



「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」の大臣賞受賞者（国土交通大臣応接室）

CONTENTS

1. 「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」 大臣賞表彰式を実施 2
2. 企画展「山の「地図と測量」—地形図と標高—」を開催 3
3. 「測量の日」関連行事を実施
 ● 第20回北海道測量技術講演会を開催 4
4. 「自然災害伝承碑  ウェブ地図「地理院地図」での公開数 5
5. 1月の報道発表・3月の主な行事予定 5

「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞表彰式を実施

1月15日、国土交通大臣応接室において「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞の表彰式を行いました。

「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」（主催：全国児童生徒地図作品展連絡協議会及び国土地理院）は、全国各地から推薦された作品の中から、より優秀な作品として「国土交通大臣賞」、「文部科学大臣賞」を選出しました。1月15日に大臣賞表彰式を行い、国土交通大臣賞を受賞した神戸市立成徳小学校6年吉永美穂さん、文部科学大臣賞を受賞した岐阜市立長良東小学校3年星野友美さんへ齊藤鉄夫国土交通大臣から表彰状と記念品が授与されました。

（参照：[国土地理院広報第667号](#)（「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催））

●国土交通大臣賞

「成徳の防災」

神戸市立成徳小学校 6年 吉永 美穂さん



●文部科学大臣賞

「地図記号「V」の中には何がある？」

岐阜市畑マップ
岐阜市立長良東小学校 3年 星野 友美さん



記念撮影に続いて大西宏治全国児童生徒地図作品展連絡協議会会長から齊藤大臣へ今回の受賞作品の紹介が行われました。齊藤大臣からは受賞者に対し、まとめるのに大変だったこと、作成にあたり工夫した点を問いかけられるなど、国土交通省の仕事のことも含めながら話され、終始和やかな雰囲気でした。



齊藤大臣に作品を説明する吉永さん



齊藤大臣に作品を説明する星野さん

作品の紹介等詳細は以下のURLからご覧ください。

全国児童生徒地図優秀作品展 <https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/sakuhin.html>

（総務部）

企画展「山の「地図と測量」―地形図と標高―」を開催

国土地理院「地図と測量の科学館」(茨城県つくば市)では、特別展示室において3月19日(火)から6月23日(日)まで、企画展「山の「地図と測量」―地形図と標高―」を開催します。

日本の国土は約3分の2が山々で占められています。そこでは四季折々の美しく豊かな自然が広がっており、私たちの暮らしに様々な恩恵を与えています。

国土地理院は、明治以来150年以上にわたり国土の測量と地図の作成に取り組んでいます。この企画展では山の「地図と測量」に焦点を当て、近代測量での高さに関する測量方法の変化や地図上の表現方法の変化を紹介するとともに、登山・ハイキングには欠かせない地形図の利用方法を紹介します。また、旅行など外出を楽しむ方が増えていることから、今回の展示では茨城県内の登山・ハイキングのできる山のほか、海外から訪れた方々にも人気のある山を紹介します。このほか、これまで地図に記載されてきた山の表現方法の歴史的な変遷などについても紹介します。

この企画展が、山の魅力に新たな光を当て、山をいっそう深く知るきっかけとなればと思います。そしてぜひ身近な山に登っていただき、新たな発見があることを願っています。

【主な展示内容】

- 高さの測量方法や変遷
- 地図の高さの表現方法や変遷
- 登山・ハイキングのできる山の紹介
- 登山には地形図が必需品
- 火山土地条件図やパノラマ写真 など



詳細については、「地図と測量の科学館」のHPをご覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



(総務部)

「測量の日」関連行事を実施

●第20回北海道測量技術講演会を開催

1月25日、北海道地方測量部は公益社団法人日本測量協会北海道支部との共催により第20回北海道測量技術講演会を札幌第1合同庁舎講堂において開催し、92名の方にご来場いただきました

北海道測量技術講演会は、測量や地図に関する最新の技術やタイムリーな話題を提供するため、平成15年度から開催し、今年で20回目です。

今回の講演会では、「リモートセンシングデータの流通・活用に関する測量技術の最新動向」をテーマに4名の専門家から講演いただきました。

最初に北海道庁治山課 喜多耕一氏より、「北海道の航空レーザ測量データとオープンデータの活用」と題して、北海道庁での航空レーザ測量データのオープンデータ化の取り組み状況と課題を紹介いただきました。



喜多耕一氏の講演の様子

続いて、国土防災技術北海道株式会社 平元万晶氏より「治山事業における点群データの調査、解析、設計への応用」と題して、林野治山事業分野でのコンサルティングにおける点群データを用いた高度なリスク要因分析、可視化、三次元設計の先端事例を紹介いただきました。

休憩をはさんでアジア航測株式会社 佐野寿聡氏より「航空レーザ計測・航空レーザ測深等の三次元測量データの活用について」と題して、航空レーザ計測や航空レーザ測深で用いられているレーザ計測機器の特徴等を北海道大学での研究事業等も交えて解説いただきました。

最後に当院の^{こ かつけんすけ}小門研亮測地部宇宙測地課長より「干渉 SAR 時系列解析による全国変動分布図の公開とその活用」と題して、昨年3月より公開している全国干渉 SAR 時系列解析結果について、干渉 SAR の基礎的な知識や過去の干渉 SAR 解析結果の活用事例等を含めて紹介しました。



小門研亮課長の質疑応答の様子

会場ロビーにおいては、当院の業務概要のほか令和6年能登半島地震の対応状況等を紹介するパネルの展示を行いました。



パネル展示の様子

北海道地方測量部は、最新の測量技術や政策に関する情報の提供、技術者のレベル向上や地理空間情報の更なる活用を図る場として、今後も本講演会を開催いたします。

(北海道地方測量部)

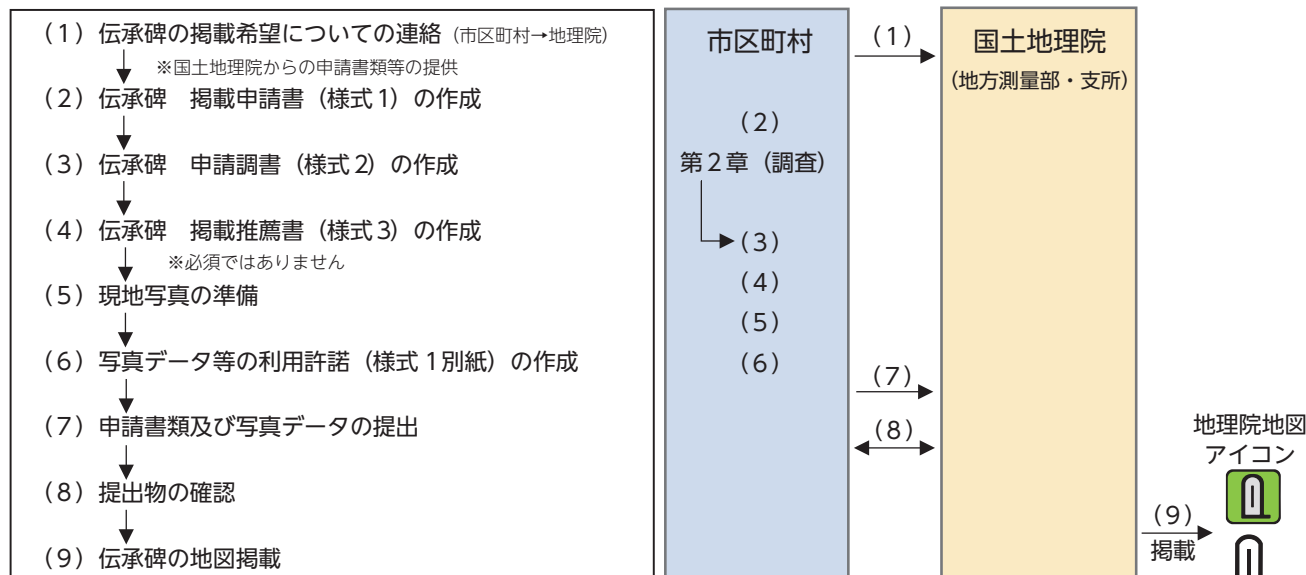
47 都道府県

596 市区町村

2081 基

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。
 【市区町村の担当者の皆様へ】自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第5版 (令和5年3月)」
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html をご覧ください。

1 月の報道発表

12日	令和5年12月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
23日	令和6年能登半島地震後の地形の状況が3Dで確認できるようになりました	地理空間情報部
26日	被災者の生活と生業 (なりわい) 支援のためのパッケージ (国土地理院関係)	企画部
31日	湖沼図「中海」を更新 ～最新の測量機器を用いて湖底の地形を把握～	応用地理部

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2024年 報道発表資料一覧
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2024.html> をご覧ください。

3 月の主な行事予定

3/12	第30回測量行政懇談会※オンライン併用
3/19～6/23	地図と測量の科学館 企画展「山の「地図と測量」―地形図と標高―」

国土地理院広報は、
 国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/> に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院
 Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
 TEL 029-864-6255
 FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室
 国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>